



申3号

「2026年3月ダイヤ改正及び浦和統括センター乗務ユニットの融合について」
の申し入れ

【 : 組合、 : 会社】
《大宮統括センター》

2月12日開催 交渉要旨その7

● 東大宮研修も行けなくなっている！計画通りになっているのか？

● 年休を流しかねない！

● 私たちは一時的（な要員不足）とは思っていない！乗務業務をやりたい人が“ジョブローテーションで異動させられている”ことは指摘させてもらおう！

● 乗務せざるを得なくなっているのは把握している。

● 支社兼務や管理者乗務等で対応していく。

4. 居流しを前提としない、自宅から通勤できる日勤行路を増やすこと。

（回答）行路の設定については、乗務割交番作成規程に基づいて行っているところである。

● 生活設計が配慮されていない！

● 予備交番時、“コミュニケーションなく”出勤できない勤務が振られている！指導すべきだ！

● 現状朝のためだけに出している列車があり、ピーク本数を減らせれば考えていける。ピークシフトが課題。

● 丁寧に対応するように指導していく。

5. 朝の通勤時間帯の新宿駅・大崎駅での次列車までの乗継時間が僅少なため、安定性を考慮した行路作成をすること。

（回答）行路の設定については、乗務割交番作成規程に基づいて行っているところである。

● 考慮してもらいたい！

● 20分が目安なのか？

● 新宿は広く取って最終調整していきたい。

● しきい値（※）は無いが、20分が余裕のある時間と認識している。

※しきい値... ある現象や反応が起こるか否かの境目となる、限界の数値

出勤できない勤務を一方向的に指定されて、生活設計が配慮されたと誰が思うのか？円滑な運営にコミュニケーションは必須だ！